

1 単元名 国民国家と明治維新（ヨーロッパ国民国家の発展）

2 単元の目標

- 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 （知識及び技能）
- 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付ける。 （思考力、判断力、表現力等）
- 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 （学びに向かう力、人間性等）

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 ②南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、その地域的特色を大観し理解している。	①アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較・関連付けて、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②帝国主義の特質と現代的な諸課題との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。	①列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

4 単元の指導について

(1) 教材について

本単元は帝国主義政策の背景、特徴、列強間の関係の変容を多角的・多面的に考察し、表現する力を育成するとともに、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとすることをねらいとしている。

(2) 生徒の実態について

「自己・他者・地域・国際社会などの多角的な視点を持ち、諸問題に対する幅広い関心と理解の基に調和のとれた課題解決を図ることができる人間」を育てたい生徒像としている。しかし、多角的な視点の一つである歴史的観点から現代の諸問題を捉える生徒は少なく、現在と歴史的事象との関連性を見出すことが生徒の課題である。また、調和のとれた課題解決のために必要となる国際人としての

自覚が薄いため、自身が地球に住む一人であることを意識付けることが求められる。これらを受け、単元を通して課題解決的な学習を進める中で、生徒が自分の生活や社会との関わりを意識しながら課題をつかみ、追究していけるような場面を設定し、歴史的事象を自分事として捉えられるようにしていくことが必要だと考える。

5 単元の指導計画（13時間扱い）

○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価

次	学習過程	時	学習内容・活動	知	思	態	評価規準【評価方法】
1	単元を貫く課題をつかむ	1	1 単元を貫く学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 帝国主義が現代に生きる私たちにもたらしたものは何だろうか。 </div> 2 6～7人のグループ内で、絶対王政・イギリス革命・植民地支配と世界貿易について役割分担して教科書と資料集を理解する。	○			○教科書や資料集を通して帝国主義以前の列強の国内状況を理解している。【ノート・観察】 ※理解に至らない生徒に対しては説明を加えて列強の国内状況の理解を促す。
2	調査と共有①	2	1 絶対王政・イギリス革命・植民地支配と世界貿易についてグループ内で調べたことを共有する。		○		○帝国主義の背景となる列強の国内状況を理解し自分の言葉で分かりやすく表現している。自分以外の生徒の説明に対して疑問点を質問している。【観察・発言】 ※説明が不安な生徒には机間巡視しながら説明に加わりグループ内の理解を促す。
	調査と共有2	3	1 大西洋革命の影響について講義を通して理解する。 2 4名のグループで大西洋革命について産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命・ナポレオン戦争を分担して教科書・資料集をまとめ、理解し、説明できるように準備する。	○			○大西洋革命について各自分担された内容を理解している。【ノート・観察】 ※読み取りが進まない生徒には説明を加えてそれぞれの大西洋革命について理解を促す。
		4	1 大西洋革命についてグループ内で共有する。		○		○大西洋革命について各自分担された内容を理解し自分の言葉で表現し、他の生徒の説明を聞くことで革命間のつながりを捉え、多面的・多角的に考察している。【観察・発言】 ※理解が困難な生徒には説明を加え、グループ内の理解を促す。

3	新たな課題をつかむ	5	<p>1 ウィーン体制とその崩壊を教科書の解説を通して理解する。</p> <p>2 18・19世紀のイギリスの貿易の変化について折れ線グラフを読み取る。</p> <p>3 奴隷貿易について理解し近くの座席の生徒と意見を交換する。</p>	○	◎	○	<p>○教科書を通してウィーン体制とその崩壊について教員の説明を通して理解する。【発言】</p> <p>※理解に至らない生徒には革命内の説明を加えて理解を促す。</p> <p>◎資料集で産業革命前後のイギリスの貿易の変化についてグラフを読み取る。【観察・発言・ノート】</p> <p>○単元を貫く課題を意識しながら奴隷貿易について批判意見と肯定意見の資料、奴隷貿易が各地に与えた影響を読み、自分の考えを表現している。【観察・発言】</p>
4	主題に迫る	6	<p>1 グループ学習を通して列強の経済が抱える問題の要因を考察することで、なぜ列強は帝国主義政策をとったのか植民地獲得の動機を理解する。</p>	○			<p>○列強の国内状況を理解し、帝国主義に至った理由について理解している。【ノート・観察】</p> <p>※理解に難しい生徒には説明を加えて列強の国内状況の理解を促す。</p>
		7	<p>1 教室全体におけるグループ発表を通して列強全ての国内状況を理解する。</p>		◎		<p>◎グループ発表を通し、単元を貫く課題を意識しながら多面的・多角的に列強の国内状況を考察し説明している。【発表・観察】</p> <p>※説明内容が不安な生徒に対してはグループ内の協力を仰ぎ、発表ができるように促す。</p>
		8	<p>定期考査</p>	◎			<p>◎絶対王政・イギリス革命・植民地支配と世界貿易・大西洋革命・ウィーン体制とその崩壊・ナショナリズムの高揚・列強の植民地獲得に至るまでの内容を日本とのかかわりを意識しながら捉えることができる。【考査】</p>
5	単元を貫く課題について考察し解	9	<p>1 レポート課題を確認する。</p> <p>帝国主義政策によってアジア・アフリカの国々が植民地になったことによる変化を理解することはあなたにとってどのような意味があると予想されるか 400字以内で述べよ。</p>		○		<p>○教科書や資料集を参考に、自分自身にどのような意味があるのかを予想する。【レポート】</p> <p>※「自分にとっての意味」については具体的な説明が必要な生徒に対しては「社会・経済・政治などの変化」「知識、できれば生活」であるという助言をして促す。</p>
		10	<p>1 「帝国主義時代の国際関係を理解しよう」というワークシートを通して1871年から1890年までのビスマルク体制の完成・1890年から日露戦争まで・日露戦争後から第一次世界大戦までの列強間の関係の変容などを図式化して理解する。</p>		○		<p>○1871年から第一次世界大戦までの列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。【ワークシート・観察】</p> <p>※理解が難しい生徒に対しては他の生徒と共にワークシートを進め、列強間の関係の変容を多面的・多角的に捉えられるよう促す。</p>
		11	<p>1 この時期に列強の植民地獲得競争はどのように進められたのか、日清・日露戦争などを基に植民地になった地域における政治・社会・経済の課題をまとめる。</p>		○		<p>○アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較し、相互に関連付けるなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。【ワークシート・観察】</p> <p>※理解に至らない生徒に対しては帝</p>

決 す る					国主義政策の特徴や列強間の関係を具体的に想像できるように説明をし、多面的・多角的に捉えられるよう促す。
	12	定期考査	◎		◎17・18世紀のヨーロッパ文化と19世紀の欧米文化について、これまでの授業内容から歴史的背景を踏まえ理解する。【考査】
	13	<p>1 レポート課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>帝国主義政策によってアジア・アフリカの国々が植民地になったことによる変化を理解することはあなたにとってどのような意味があると考えるか。</p> </div> <p>2 現在の世界にある諸課題について自分で調べ、興味のある内容をこれまでの授業を踏まえてレポートを考える。</p>	◎	◎	<p>◎植民地になった地域の現在の課題と関連付けて当時の課題を捉えられる。【発言】</p> <p>◎レポート作成を通して、現代の諸課題について帝国主義を踏まえて多面的・多角的に考察できる。【レポート】</p> <p>◎歴史的事象と現代の諸課題を結び付けることの意義を見出だし今後の学習に生かそうとしている。【レポート・ノート】</p>